

札幌保健医療大学女子バスケットボール部ご案内



1, バスケットボール部の目標

北海道の大学バスケで優勝する・・そして全国大会へ

ずばりインカレ出場を目指しています。もちろん優勝して全国大会出場が目標です。

ただ優勝すればいいということではなく、以下のコンセプトが大切です。

バスケ部全体のコンセプトは、

バスケを楽しみながら優勝を狙い、インカレ(大学の全国大会)の出場を目指すとともに、学生としての本分もしっかりとやり遂げよう！

バスケットボールを楽しむことと全力で一生懸命に取り組むことの両立を目指します。

さらに学生としての本分である勉学に励むことも大切です。そのことにもしっかりと取り組み、栄養士や看護師等の資格を取得してもらいます。

2, バスケットボール部の紹介

2023 年に設立された新しいチームで強化指定部活です。現在部員は1, 2年生しかおらず、2年生9名、1年生8名の計17名です。『北海道の上位チームを打ち破り北海道 No.1 になる』ことを目標にチャレンジャーとして日々の練習に取り組んでいます。

昨年は大学選手権で3部の優勝を果たし、今年は2部の優勝を飾りました。来年からは1部のステージに立ちます。今年6月に実施された新人戦(1, 2年生出場の大会)では北海道3位となり、あと一步で全国大会へ出場できるところでした。

本校は決して大きい大学ではありませんが、大学からは全面的にバスケットボール部をバックアップしていただいています。以下の事項はその一部です。

【遠征・合宿】

下記合宿、遠征、大会について大学から宿泊費・交通費に対して補助金(35~50%)があり、学生の負担をできるだけ軽くできるようにしています。

春に道内合宿を実施しています。(秩父別町)

夏休み中に道外遠征を実施しています。(昨年は東北、今年は関東)

公式戦(春季大会、道民大会、秋季大会など)

【施設・設備】

本校は吉田学園系列の大学として、吉田学園北海道スポーツ専門学校の施設をバスケットボール部員は無料で使用できます。本格的なトレーニングルームの使用が可能です。

【ユニホーム、登録料等】

試合で使用するユニホーム、練習で使用するナンバリング3種類、日本バスケットボール協会への登録料、大会への参加料など多くの事項で大学が負担しています。学生への金銭的負担が極力少なくてすむようにしています。

3, 大学の学科

(1) 栄養学科

バスケットボール部にスポーツ特待制度があります。A 特待（授業料 4 年間全額免除）と B 特待（授業料 4 年間半額免除）です。

卒業時には栄養士の資格が取得できるとともに、管理栄養士の受験資格が取得できます。またスポーツ栄養学もあり、それをいかして将来スポーツに関わりながらの仕事に就くことができます。栄養教諭の免許取得も可能です。

(2) 看護学科

バスケットボール部にスポーツ特待制度があります。B 特待（授業料 2 年間半額免除）です。

看護師を目指しながらバスケットボール部の活動ができます。

看護教諭の免許取得も可能です。

4, バスケットボール部のスタッフ募集

選手として活動するのはもちろん大歓迎で OK ですが、その他に入学時からスタッフとしてバスケットボール部に所属し活動する選択肢も増やしました。上記のいずれかの学科に入学し、スタッフとしてバスケットボール部を支えてくれる方を募集いたします。

普段はマネージャー業務をしていただき、以下のことをプラスして充実していきます。

- ① アシスタントコーチ・・・JBA 公認コーチを取得してもらいます
- ② 審判・・・JBA 公認審判を取得してもらいます
- ③ 栄養スタッフ・・・栄養学科での学習をいかして選手の栄養管理を行います
- ④ トレーナー・・・本校でトレーナー資格はとれませんが、看護学科の学習をいかしてもらいます

バスケットボール部のスポーツ特待制度を活用する予定です。

B 特待として栄養学科は授業料 4 年間半額免除、看護学科は授業料 2 年間半額免除することを検討中です。



選手として病気やケガ等でプレーを続けられなくなってもチームスタッフとしてバスケットボール部に関わり続けることも可能です。選手の頑張りはもちろんですが、大学のバックアップ、スタッフの充実を含め、総力を上げて北海道 No.1 を目指し、インカレ出場を果たしたいと思います。

皆さんから愛される、素晴らしいバスケットボール部になれるように邁進してまいります。

何かお聞きになりたいことがあれば気軽に下記まで連絡をいただければ幸いです。

よろしくお願いいたします。

札幌保健医療大学 バスケットボール部 顧問 大浦 浩

携帯 090-3395-7682